

土木建築 工事基本知識講座

保線作業と地盤 理學士 江畑弘毅

一般土木工事に應用自在なる 岩盤及び地盤に對する一般的判定法……(4)

地迂りは如何なる地盤に起るか、堰礎の基礎は如何なる岩盤が良いか、或は自然の地盤や岩盤に對して如何なる切取り方法をしたら良いか、所謂工事の合理的施工をなす爲めに先づ此の地盤の常識を有つ事が必要である。江畑學士の懇切なる説明は豊富なる參考寫眞と圖解とに依り山野の實地に就て講話を聞く様である。(編者)

次に斷層の種類のことですが、斷層を類別するには色々の標準があります。こゝでは最も普通に用いられてゐるものに就て説明します。第三表では斷層を凡そ三つの種類に分けてあります。即ち(1)正斷層、(2)逆斷層、(3)水平斷層であります。此分け方は地盤の動き方の關係を示してゐるのであります。(1)の正斷層と(2)の逆斷層とは主として重力の作用で兩盤が上下に喰ひ違ひが生じた場合で(3)の水平斷層は主として張力の作用の結果兩盤が水平の方向に移動した場合であります。故に後者は之を一名横迂りとも云ひます。

(1)正斷層 之は上盤が斷層面に沿ふて滑り墜ちた場合であります。故に之を一名向下斷層とも呼んで居ます。これは諸種の斷層中最も普通に見受ける種類のものであります。此場合第三表の圖解に見る如く、斷層面が(イ)の場合の様に垂直なる場合もあれば(ロ)の場合の如く斜めの場合もあります。

(2)逆斷層 これは前の正斷層と反對なる場合で、上盤(動く方の地盤)が斷層面に沿つてすり上つた場合であります。故に一名向上斷層とも申します。之にも(イ)(ロ)の場合があつて斷層面の垂直と斜めとの2種類があります。その中でも(ロ)の場合の如く上盤(b)が下盤(a)の上に斜めに迂り上つた(衝き上つた)場合は、その形は後に述べる地層の褶曲の特種の状態に好く似通つて居りますから、之を一名褶曲斷層とも云ひます。

(3)水平斷層(横迂り) この横迂りにも地盤が左右に動く場合と、前後に動く場合との二つの別があります。又この夫々の場合に於ても斷層面が直立してゐる時と、斜立してゐる時との別が起つて來ます。

斷層の分け方には尙此外に色々の場合があります。例へば成層岩に於ては斷層面の走向と、地層の走向とが平行するか、直交するか

第二表 地盤の(割目)節理の種類

(5) 多 面 狀 節 理	(4) 球 狀 節 理	(3) 方 狀 節 理	(2) 柱 狀 節 理	(1) 板 狀 節 理